

日本陸水学会甲信越支部会

第 35 回研究発表会プログラム

2009 年 11 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日)

発表会場：富士河口湖町「精進レークホテル」

〒 401-0336 山梨県南都留郡富士河口湖町精進 2 5 5

TEL: 0555-87-2211

懇親会場：同上

日		程	会場等
月 日	時間	行事等	
11月28日(土)	14:00-15:00	受付、ポスター掲示*	精進レークホテル
	15:00-17:10	口頭発表(1) K1-8**	
	17:20-17:55	ポスター予告***/幹事会	
	18:00-18:15	総会(会員)	
	18:00-19:00	自由時間(入浴など)	
	19:00-21:00	懇親会	
11月29日(日)	7:30- 8:30	朝食	
	9:00-11:10	口頭発表(2) K9-16	
	11:10-12:00	ポスター発表 P1-24	
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-14:00	口頭発表(3) K17-20	

* ポスター発表の方は、受付後、直ちにポスターを掲示してください。

パネルの大きさは幅 90cm、高さ 180cm です。掲示に必要なピンは各自ご用意下さい。

撤去は 2 日目口頭発表終了時刻までに終えてください。

** 口頭発表の方は、受付にプレゼンテーションのファイルを提出してください。

また、受付にて動作確認を行ってください。

口頭発表の時間は、発表 12 分+質疑 3 分の計 15 分間です。

(1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分)

*** ポスター発表者は、1 件 1 分程度で予告・宣伝をお願いします。

発表プログラム

11 月 28 日 (土)

開始時刻

14:55

開会の言葉 (福原晴夫 会長)

口頭発表 (1) 座長: 永田貴丸 (信州大・山岳科学総合研究所)

15:00 K1 スペリヒュ科植物によるアオコ毒素 microcystin の除去

○磯部鷹俊 1)・奥畑博史 2)・宮坂均 2)・朴虎東 1)

1)信州大学 理学部・2)関西電力 環境技術研究所

15:15 K2 水電解処理による *Microcystis* と microcystin の制御の試み

Jeon Bong-Seok, Han Jisun, Park Ho-Dong (信州大学理学部)

15:30 K3 諏訪湖におけるアオコ崩壊時の溶藻バクテリアの役割

○二木 功子・朴 虎東 (信州大・理)

15:45 K4 諏訪湖藍藻優占種の滞留時間に対する応答

○中村 剛也*1・宮原 裕一*2・花里 孝幸*2・朴 虎東*1

(*1 信州大学・理学部 *2 信州大学山地水環境教育研究センター)

(休憩)

座長: 河 鎮龍 (信州大・山岳科学総合研究所)

16:10 K5 夏期における諏訪湖の水塊構造

○勝田惇司 1)・豊田政史 1)・宮原裕一 2)

(信州大学 1 工学部社会開発工学科, 2 山岳科学総合研究所)

16:25 K6 日本の内陸湖沼堆積物における PAHS の分布について

○門 雅莉・水本 健・福島 和夫 (信大 理)

16:40 K7 多環芳香族炭化水素類の一斉分析法の開発とその応用

○内貴拓也 1), 村津瑛世 2), 岡本梨佐 1), 八島理智 1), 宮原裕一 3)

1 信州大学理学部, 2 信州大学大学院, 3 信州大学山岳科学総合研究所

16:55 K8 安曇野わさび田湧水群・松本城下町湧水群における硝酸態窒素の起源

○北林美帆・戸田任重 (信州大学理学部)

(休憩)

ポスター予告 座長: 石母田誠 (信州大・山岳科学総合研究所)

17:20- 17:55 ポスター予告 (P1-24) / 幹事会

(休憩)

18:00- 18:15 総 会

18:00- 19:00 自由時間 (入浴など)

19:00- 21:00 懇親会

11 月 29 日 (日)

口頭発表 (2) 座長: 高桑美奈 (新潟大・院・教育学研究科)

- 9:00 K9 富士五湖西湖における底生動物相とその分布
*傳正海 1)・井上栄壮 1)・吉沢一家 2)・吉田雅彦 3)・風間ふたば 4)・平林公男 1) (1)信州大・繊維、2)山梨衛研、3)山梨県立大、4)山梨大・工)
- 9:15 K10 富士北麓、山中湖に生育する水生植物の種組成と現存量－2009－
○深代牧子・渡邊友美・芹澤如比古 (山梨大学教育人間科学部)・芹澤 (松山) 和世 (山梨県環境科学研究所)
- 9:30 K11 静岡県御前崎沿岸に生育する海藻類の種組成と現存量－2009－
○渡邊友美・深代牧子・芹澤如比古 (山梨大学教育人間科学部)・芹澤 (松山) 和世 (山梨県環境科学研究所)
- 9:45 K12 千曲川河畔林における土壌中窒素蓄積量: ハリエンジュ林とヤナギ林の比較
○久保光正・戸田任重 (信州大理学部)

(休憩)

座長: 今井晶子 (信州大・山岳科学総合研究所)

- 10:10 K13 マツバイ (*Eleocharis acicularis* var. *longiseta*) の生活史に関する研究
○金安裕美・○中野絵美子・福原晴夫 (新潟大学・教育人間科学部)
- 10:25 K14 富栄養湖における水質とクロロフィル a 濃度、大型水生植物の現存量の関係－砂丘湖・佐潟における陸水生態学的研究 XVI
○枝村佳奈・○笠原真美・福原晴夫 (新潟大・教育人間科学部)
- 10:40 K15 松本市洞地区ビオトープ池の水生昆虫相の変化と食物網解析
○厚芝源太郎・山本雅道 (信州大学大学院工学系研究科)
- 10:55 K16 松本市周辺のチョウ類群集の定量的調査
○加藤なゆ樹・山本雅道 (信州大学工学系研究)

11:10 – 12:00 ポスター発表

P1 信濃川の一大支川洪海川の陸水生物ことに魚類の再生産を図る

○安部信之・松本史郎・帆苅信夫・帆苅 信・富樫繁春・伊藤正一・伊藤 章・佐藤 豊・本間義治 (新潟河川生態研究グループ)

P2 オオエゾヨコエビの密度の違いに及ぼす要因の検討

—近接した二つの湧水地におけるオオエゾヨコエビの生態 III

○高桑美奈 1・福原晴夫 2 (1:新潟大・院・教育学研究科, 2:新潟大・教育)

P3 富士北麓、山中湖における光量の季節変化

○芹澤如比古 (山梨大学教育人間科学部)・芹澤 (松山) 和世 (山梨県環境科学研究所)

P4 公共用水域水質測定データの解析による山中湖の湖水環境の長期的変動

○佐藤裕一・深代牧子・芹澤如比古 (山梨大学教育人間科学部)・芹澤 (松山) 和世 (山梨県環境科学研究所)

P5 気象庁測定データの解析による御前崎の気温と水温の長期的変動

○牧田篤弥・渡辺友美・芹澤如比古 (山梨大学教育人間科学部)・芹澤 (松山) 和世 (山梨県環境科学研究所)

P6 北八ヶ岳双子池における水質の中長期変動—富栄養化からの回復と酸性雨陸水影響モニタリング—

○樋口澄男・堀 順一・吉田富美雄・渡辺哲子※・曾根三千代・小平由美子・柳町信吾（長野県環境保全研究所 ※：現 上小地方事務所）

P7 発電取水による流量減少が河川魚類生息面積に及ぼす影響

○村上眞裕美・山口元吉・阿部信一郎（水研センター中央水研）

P8 諏訪湖における近年のヒシ群落

武居 薫（長野県水産試験場諏訪支場）

P9 諏訪湖湖心部における水生線虫類の長期変動 (2)

○平林公男 1)・西川健一 1)・坂井規浩 1)・宮原裕一 2)・花里孝幸 2)・福原晴夫 3)

1) 信州大学繊維学部応用生物学系応用生態学、2) 信州大学山岳科学総合研究所、
3) 新潟大学教育人間科学部生物

P10 超音波刺激がユスリカ若齢幼虫・卵塊の生存率に及ぼす影響

○武田昌昭 1)・山本雅道 2)・風間ふたば 3)・平林公男 1) (1) 信州大学繊維学部、2) 信州大学山岳科学総合研究所、3) 山梨大学工学部)

P11 諏訪地域における水質中の毒性要因の解明—オオミジンコを用いた試水の評価—

○石母田誠 1), 中島大介 2), 白石不二雄 2), 宮原裕一 3)

(1 信州大学大学院, 2 国立環境研究所, 3 信州大学山岳科学総合研究所)

P12 諏訪湖における除草剤の長期的な変遷とその分布

—試水中の除草剤は植物プランクトンに影響を及ぼすか?—

○石母田誠 1), 小松正知 2), 田中薫 2), 山下智代 2), 角田沙代子 2), 宮原裕一 3)

(1 信州大学大学院, 2 信州大学理学部, 3 信州大学山岳科学総合研究所)

P13 諏訪湖における各種イオンの水平分布

○今井晶子 1), 宮原裕一 2) (1 信州大学大学院, 2 信州大学山岳科学総合研究所)

P14 山岳地域における多環芳香族炭化水素類 (PAHs) 汚染

○村津 瑛世 1), 宮原 裕一 2), 鈴木啓助 2)

(1 信州大学大学院, 2 信州大学山岳科学総合研究所)

P15 浅い湖沼でのゾウミジンコ属の 2 種における鉛直分布の変化とその要因

○君島祥・永田貴丸・花里孝幸（信州大学山岳科学総合研究所）

P16 ゾウミジンコが魚の影におびえて小さくなる?

○伊部 寛祐・花里 孝幸（信州大学山岳科学総合研究所）

P17 長野県・山梨県の渓流水のアミノ酸組成

○小間康史・戸田任重（信州大学理学部）

P18 霧ヶ峰踊場湿原におけるシカの糞量とその無機化ポテンシャル

○市川貴大・戸田任重（信州大学理学部）

P19 松本市周辺の河川における水質汚染

○釜屋妙子・戸田任重（信州大理学部）

P20 渓流水の硝酸態窒素濃度とその流域での窒素無機化速度との関係

○山田晃史・戸田任重（信州大学理学部）

P21 アオコ毒素 microcystin が一次捕食者を介して高次捕食者に蓄積する可能性

○上村聡・朴虎東（信州大学理学部）

P22 山中湖流入河川の負荷量について

○吉澤一家 小田切幸次（山梨県衛生公害研究所）

P23 富士川流域における河川水の水素および酸素安定同位体組成

○石丸俊太郎・中村高志・風間ふたば（山梨大学・院・国際流域環境研究センター）

P24 Situation with life and environmental science education available for a secondary school pupil in Japan and Ukraine

○K. Fomichova and F. Kazama (Department of Eco-social System Engineering Univ. of Yamanashi)

12:00- 13:00 (昼食)

口頭発表 (3) 座長: 渡邊琴文 (信州大学大学院)

13:00 K17 バイオマニュピュレーション後の湖沼における
カブトミジンコの形態変化

○伊澤智博・河鎮龍・花里孝幸 (信州大学山岳科学総合研究所)

13:15 K18 魚のカイロモンによって変化するミジンコの生活史特性は動物プランクトン
群集をコントロールするか?

○井上美幸・花里孝幸 (信州大学山岳科学総合研究所)

13:30 K19 ワカサギ仔魚による動物プランクトン群集への捕食影響

○伊部 寛祐・永田 貴丸・花里 孝幸 (信州大学山岳科学総合研究所)

13:45 K20 ミジンコの殺虫剤耐性に及ぼす水草の影響

○菊池陽子・花里孝幸 (信州大学山岳科学総合研究所)

閉会の言葉 (安部 信之 副会長)